

最新テクノロジーを搭載した医療機器と測定器「鑑 AKIRA」。リハビリテーションの現場から産まれた AKIRA を実際に導入しての声や、「鑑 AKIRA」を活用している日本全国の病院についてなど、AKIRA の最新ニュースをお届けします。

巻頭企画 The Special Feature Article

「見える・わかる」 ADLアウトカム評価票が、 全てを変える

日本基準寝具株式会社 エコール・デイ 宇品
管理者・作業療法士・介護支援専門員 池田 充 宏



弊社では以前から、厚生労働省推奨の「運動器の機能向上プログラム」にのっとり、3か月に1度計測をしてADLのアウトカム評価を行ってきました。担当の機能訓練指導員がストップウォッチを握ってタイムを測定、それを紙に記録し後から報告表にまとめるという一般的な方式です。しかし、数値的な変化だけではご本人にもご家族にも、体のどの部分の機能が改善された結果なのかはわかりません。また、より詳細な評価を参照できれば、療法士もさらに効果的なリハビリ計画が提案できます。現在の測定・評価以上のことがリハビリに関わる全ての人にとって必要だと弊社が考えていた時にお話を伺ったのが「鑑 AKIRA care」でした。

目標値や歩幅まで、鑑 AKIRA care での「見える化」が変えたこと



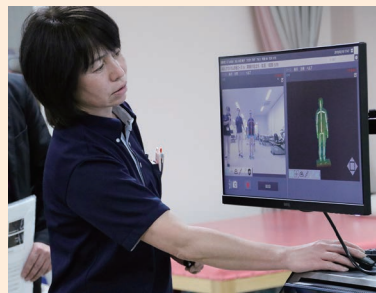
例えば鑑 AKIRA care で計測した評価票の「5m 歩行測定」では、タイム計測に加えて評価点や次回の目標値まで表示される上、歩幅や、さらに計測中の横からの姿勢まで表示されます。それまでがタイム計測での秒数だけだったのを考えると、圧倒的な情報量と数値以上の「見える化」です。評価票を受け取った利用者の方が「私こんな歩き方をしてたんだね」「猫背だから気をつけないと」と指導員と語り合うようになり、

評価票が即座に利用者の方の運動と健康へのモチベーションアップにつながったのは、大きな喜びでした。

作業療法士の視点からも、アウトカム評価以上の情報として役に立っています。もちろん病院に出向き、装具を装着する機器で正確な計測することは可能ですが、鑑 AKIRA care であればデイサービス来訪時にさまざまな項目が気軽に計測できます。例えば歩幅であれば、認知症が進行しボディイメージの混乱が現れてきた時でも、介護施設側でも早期に気がつくことができますし、足関節の手術をされている方などの歩行時の荷重バランスについても推測できるので、その後の訓練にもすぐに生かすことが出来ます。当施設にはいろいろなリハビリ機器がありますが、鑑 AKIRAcare の計測・評価が指導員がいかに効果的な機器を選ぶかというリハビリ・プログラムを考える際のひとつの指標となっています。数値だけでないわかりやすい評価票なので、利用者の方と一緒に見ながらリハビリ計画の説明ができるのもメリットのひとつです。ご家族の方とも現状についての話がしやすくなりました。利用者の方の運動意欲向上だけでなく、デイサービスとして利用者へ提供できる価値そのものを向上させることができるのも、鑑 AKIRA care ならではの機能だと思っています。



誰でも・誰にでも使えて、より多くの時間を利用者サービスへ



また、多忙な介護施設の現場では、事務作業よりも利用者の方の健康のために時間をかけたいというのは同じ思いだと思います。鑑 AKIRA care は利用者の基本情報さえ入力すれば、測定から評価・記録・保存まで全て一括で行ってくれるので、その点も時間短縮になりました。当初はどうしても「パソコン」への苦手意識がある職員もいたのですが、使い方をレクチャーしてもらうとすぐに操作できるようになりました。

測定の開始はリモコン・ボタンを押すだけ。コメントの入力もパソコンが苦手なら手書きでも大丈夫。と、パソコンに慣れていない人でも簡単に操作できるインターフェースであることは、マネジメント側として安心して導入できた理由の一つです。



◀ 操作リモコン：ボタンを押すだけの簡単操作。ご利用者のそばで安全を確認しながら計測できます

鑑 AKIRA care がもたらす総合的な付加価値が導入の決め手に

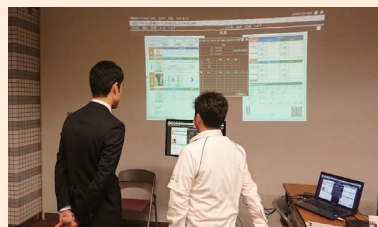
会社側へ鑑 AKIRA care の導入を提案する際には、総合的な付加価値から説明をしました。リハビリの「見える化」は利用者の運動意欲向上だけでなく、ご家族に対してもアピールしますし、その情報はケアマネージャーへもつながっていきます。また、展示会などで鑑 AKIRA care を使って体力測定を行うとテクノロジーそのものへの注目性もあります。最新の機器を積極的に取り入れている施設として、利用者やご家族の方によりそったケア・サポートを「見える化」して行っている施設として、そして職員にとっても介護の仕事を選んだ思いそのままにやりがいと目標をもって働くことができる施設として、その全てが実現されるというのが、鑑 AKIRA care の大きな付加価値だと考えています。

今後のさらに高齢化が進んでいく時代では、要介護の方だけでなく、要支援の方々へのアウトカム評価も必要になると思っています。利用者の方により健康な状態で長生きしていただくためには、モチベーションを失わず、効果的なリハビリや運動を行っていただくなくてはなりません。日本のこれからの未来に対しても、鑑 AKIRA care は非常に説得力のある機器だと思っています。

NEWS!!

「支える繋がる まちづくり会議」に 鑑 AKIRA care を出展

1月25日に広島市で開かれた、デイサービス等の事業者が集まり地域包括ケアなどについてより良い未来を目指す「まちづくり会議」において鑑 AKIRA care を出展。多くの人に体験していただきました。



Medical Engineering & Physics 誌に、論文が掲載されました！

鑑 AKIRA の立ち上がり動作時の重心の速度や加速度の妥当性を検証した広島大学大学院総合科学研究科 田中亮准教授の論文 "Measurement of the total body center of gravity during sit-to-stand motion using a markerless motion capture system"(Tanaka R, Ishii Y, Yamasaki T, Kawanishi H)が、Medical Engineering & Physics 誌に掲載されました。

美女に囲まれた鑑 AKIRA！ 美しさを分析

2月に鑑 AKIRA が計測したのは、世界 5 大国際ビューティーコンテストの一つ「ミス・スプラナショナル」東京・神奈川大会ファイナリストのウォーキング。通常の歩行と美しいステージウォーキングの違いについて今後分析を行っていきます。



日本人工関節学会にて鑑 AKIRA の論文が発表

2月15日・16日に東京・京王プラザホテルで行われた「第49回日本人工関節学会」に出展。また、鑑 AKIRA を利用した研究「人工股関節置換術 (THA) 前後の年齢とロコモ25、歩数、歩行時間、歩行速度、歩幅の関係」(畔柳裕二、泉田良一、古郡宏行、逸見治、加藤正二郎、名倉武雄)のポスター発表が行われました。

回復期リハビリテーション病棟協会研究大会に出展

2月21日・22日の両日ディズニーホテルを中核とした各会場で行われた「回復期リハビリテーション病棟協会第33回研究大会 in 舞浜・千葉」にて鑑 AKIRA を展示。多くの方に訪れていただきました。

鑑 AKIRA また海を渡る！ シンガポール総合病院へ

前回の上海に引き続き、3月初旬にはシンガポールに渡った鑑 AKIRA。シンガポールの国際的医療商社 GiGATT 社とともに、米ニューズウィーク誌が選んだ世界で最も優れた病院ランキング3位・シンガポール総合病院やチャンギ総合病院を訪問。またブライトヒルエバグリーン取締役(ボードメンバー)の方に、GiGATT 社内で鑑 AKIRA デモを実施してご好評いただきました。ヨーロッパ基準の先進的なリハビリを推進しているシンガポール。テクノロジーによるリハビリも進んでおり、鑑 AKIRA にも興味津々。「臨床現場で使える」と好評価をいただき、大きな手応えとともに帰国しました。



「見える化」テクノロジーで リハビリが変わる 笑顔が変わる

デイサービスの運動機能訓練をサポートする測定器

鑑 AKIRAcare ※1



「ここに通えて良かった」と言われる介護施設へ

2018年の介護報酬改定で導入されたアウトカム評価制度。アウトカム評価を行うことが利用者のADL維持・向上を促進するだけでなく、優良施設としての評価にも。
鑑 AKIRA careでの「自動化」「見える化」が利用者のADL向上というアウトカムへ、そして利用者、ご家族さらに社会からの信頼につながります。

特長
1

すぐに
計測・即座に評価!!
アウトカム評価を
楽々自動作成

平均
計測時間
約5分
※当社の調べ

鑑 AKIRA careが自動で計測・評価を行い、
評価票を出力します。装具やセンサーを
身につけてもらう必要もありません。
印刷してご利用者やご家族、ケアマネー
ジャーにもお渡しいただけます。

特長
2

評価の
「見える化」で、
利用者も指導員も
モチベーションアップ!!

見える
わかる
評価票

アウトカム評価票には、計測タイムはもちろん
厚生労働省推奨基準による評価・目標値も
自動で記載。歩幅や歩行速度、体幹の傾き
も記載され、三次元データによる歩行時や
立ち座りの軌跡もひと目で確認できます。

ご利用者のモチベーションアップにつながる
だけでなく効果的な機能訓練指導にも
役立ちます。

評価票 ※2

計測可能評価

5m歩行

TUG

開眼片足立 右足・左足

記録日		2018/10/23		山田 太郎 様		1933/12/12 85歳	
性別	男性	身長	160 cm	体重	60kg	BMI	23.4
握力	右		22.2kg		左		25.5kg
	評価点		2		4		
	次回目標		22.4kg 以上を目指しましょう		30.1kg 以上を目指しましょう		
5m歩行			通常歩行				最大歩行
	タイム		00:7.45				00:5.00
	平均速度		59m/min				56m/min
	平均歩幅	右 0.53m	左 0.50m	右 0.51m	左 0.50m		
	評価点		4		4		
	次回目標		6秒台を目指しましょう		4秒台を目指しましょう		
今回の歩行姿勢							
TUG			1回目				2回目
	タイム		00:13.450				00:13.140
	平均歩幅	右 0.68m	左 0.58m	右 0.69m	左 0.60m		
	評価点		3		3		
	次回目標		12秒台を目指しましょう		12秒台を目指しましょう		
	頭上から見た歩行軌跡		立ち上がりの軌跡		頭上から見た歩行軌跡		立ち上がりの軌跡

Copyright (C) 2018 System Friend Inc. All Rights Reserved.

開眼片足立右足	右足	1 回目		2 回目			
	タイム	00:15.450		00:09.140			
	体幹前傾面	右最大			右最大		
		0.23°			0.14°		
		左最大			左最大		
	1.21°			1.11°			
評価点	5		4				
次回目標	今の状態を保持しましょう				14 秒以上を目指しましょう		
開眼片足立左足	左足	1 回目		2 回目			
	タイム	00:07.123		00:09.140			
	体幹前傾面	右最大			右最大		
		2.35°			2.12°		
		左最大			左最大		
	0.45°			0.12°			
評価点	4		5				
次回目標	今の状態を保持しましょう				今の状態を保持しましょう		
運動機能など体状況モニタリング							
歩行状態		☐ 良好 ☐ 現状維持 ☒ 低下		下肢筋力		☐ 増加 ☒ 現状維持 ☐ 低下	
上肢筋力		☐ 良好 ☒ 現状維持 ☐ 低下		疼痛部位		☐ 肩 ☐ 腰 ☐ 膝 ☐ 大腿部	
機能訓練		☒ 計画通り実施 ☐ 問題点あり ☐ 提供なし					
運動機能		☐ 向上 ☐ 維持 ☒ 低下					
プログラム種類		☒ 有酸素運動 ☐ バウトレ ☐ ストレッチ ☐ リラクゼーション					
		☐ 個別プログラム ☐ その他 ()					
利用者様ご意見		☐ 非常に満足 ☒ 満足 ☐ 不満 ☐ やや満足 ☐ 聞き取り困難					
特記事項	片足立ちのバランスが若干安定していないようです。片足立ちのバランスを取るのに必要な筋肉(中背筋)を鍛えると、左右のバランスが取れるようになり、段差などでも転びにくくなります。来月から転倒予防のためのリハビリを運動プログラムに加えて、運動を頑張ってください。						
事業所名		〇〇ケアプランニング		作成者 ()			
TEL : 000-xxxx-xxxx		FAX : 000-xxxx-xxxx					
Copyright (C) 2018 System Friendz. All Rights Reserved.							

特長
3

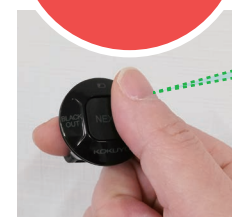
評価票作成に必要な動作を
簡単・スムーズに測定

モニターに従うだけの簡単計測。
測定の開始と終了も手元のリモコン
ボタンを押すだけ。

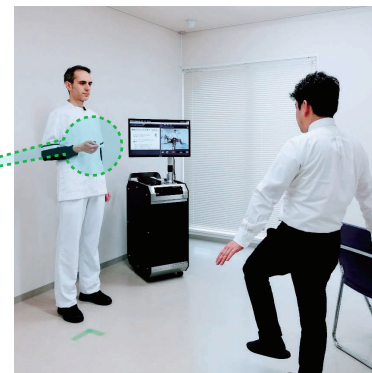
歩行計測に必要な距離はたった
6m。設置の場所を選びません。



ボタンを
押すだけの
簡単操作



ご利用者のそばで安全を
確認しながら計測できます



※1: 鑑 AKIRA care は医療機器ではありません。 ※2: 評価票はサンプルです。

お問い合わせ お気軽にお問合わせください!!

関節可動域測定装置

Mobile Motion Visualizer
鑑 AKIRA

[鑑 AKIRA 詳細ページ]

<https://www.systemfriend.co.jp/service/akira>



株式会社 システムフレンド

<https://www.systemfriend.co.jp/>

システムフレンド 広島

検索

広島本社

〒731-5125

広島県広島市佐伯区五日市駅前1-11-20

東京支社

〒141-0031

東京都品川区西五反田3-7-9 平澤三陽ビル8階

第二種医療機器製造販売業許可番号 34B2X10008

お問い合わせ: info@systemfriend.co.jp

Tel. 082-943-9530

Fax. 082-943-9531

Tel. 03-5719-3561

Fax. 03-5719-3567